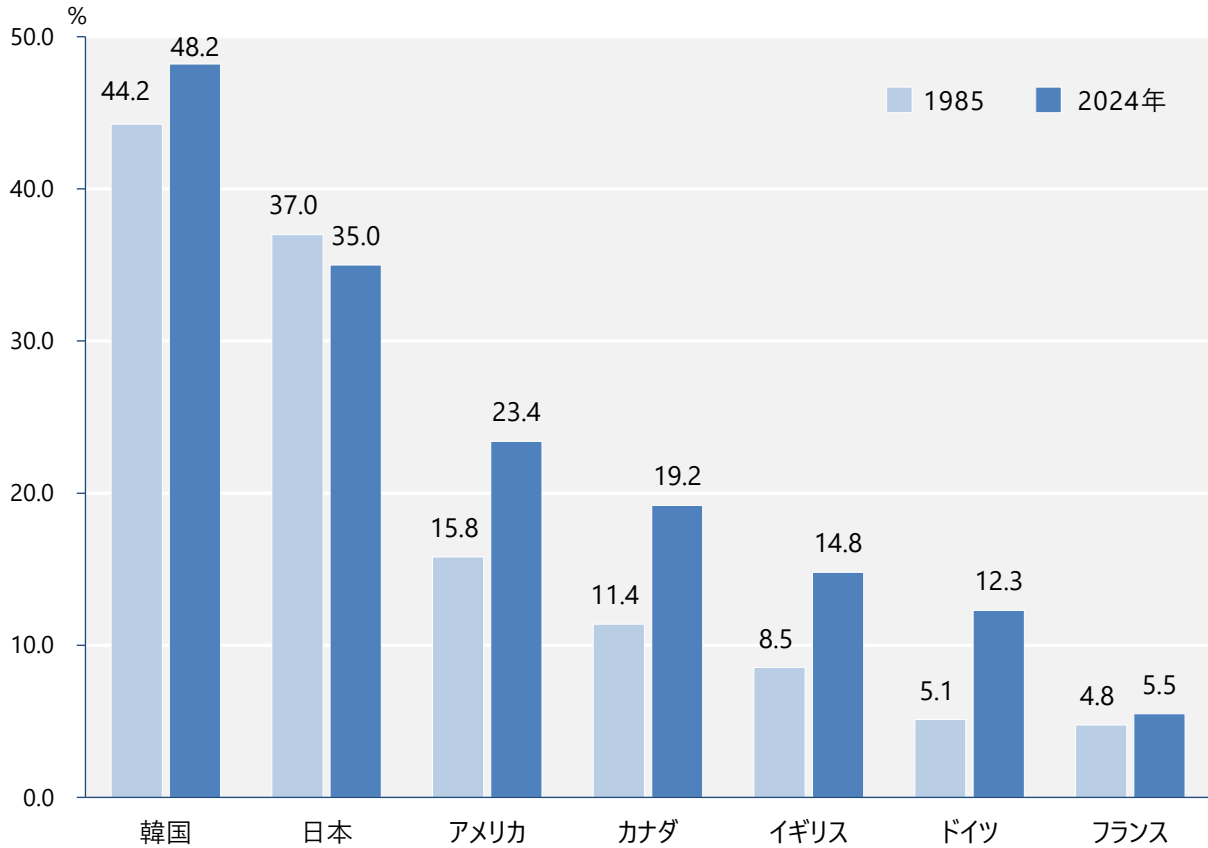


2-3 65歳以上男性の労働力率



関連表 p.70 「第 2-11-2 表 性別・年齢階級別労働力率」

65歳以上の高齢者の労働力率は、北米、EU諸国では概して低く、日本、韓国などのアジア地域は欧米諸国より高い水準にある。男女別にみるととくに男性でその傾向が顕著であり、上図に示したとおり、2024年の65歳以上男性の労働力率は、韓国で48.2%、日本で35.0%となっているのに対し、アメリカでは23.4%、カナダでは19.2%、イギリスでは14.8%などとなっている。経済発展の度合いだけでなく、地域性・国民性の違いなども反映したものと見えるだろう。

内閣府の国際比較調査の結果をみても、年代別にみた「退職した年齢」の回答で「まだ仕事を辞めていない」が、日本では65～69歳で3割、70～74歳で2割強を占めるなど、調査対象国の中で比較的高いことがみとれる (p.137 「第3-14表 高齢者の退職年齢」参照)。